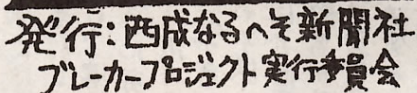


思ひ出は二コエだ

の察々やそこに住む人々の記憶が入れ子の様に混在するリアルな都市の姿をこの新聞は体現すると、同紙編集長山田亘氏は語る。同社は一線参加の記者を公募中。参加する記者達の取材の過程そのものが人から人への歴史の橋渡しともなっている。

この街に住む人々の生きて来た記憶が気づかない内に消えていってしまう前に、出来るだけ多くの方々から「暮らしの体験談」を聞き出していただきたいと同社広報の村田仁氏は語る。時空間を費く毎の移り変わりの姿を一緒に作っていく「なるへそ記者」には報道協定とメモ等が支給される。年間を通しての参加から、数回や一回限りでの参加も可能だ。



発行人: 山田 眞
 編集: プレオ・マガジン 外資行 横会
 山田 眞・村田 仁
 図案: 村田 仁

無料の新聞配布箱を設置

なるへそ新聞社(大阪市西成区)はこのほど直営の新聞配布設備となるへそ新聞ボックスを設置する。山王及び



氷の数 ひ が 人 ひと の 数 かず

水呑み地蔵周辺では、八月二十三、二十四日に行われる地蔵盆の準備に忙しい。夕方六時頃から八時頃にかけて近隣から二、三百人の子どもたちが集まってくるという。この地蔵盆は、とくにお墓

お墓子がふるまわれ暑い時期なのでとくに、かき氷が人気のようだ。かき氷のカップの裏で何人来てくれたか分かるからね、たいへんだけど楽しみだわ。このこと。今年も多くの人が出て賑わいそう。

柔らかなソフトボール

太子一丁目の西村少年の近頃の楽しみの一つは、近所の公園で毎日の様に催される軟芝居だ。黄金バットや鞍馬大狗などを見たあと串カツにも電車賃にも出果たはらずの五円で型又キに挑戦するも苦戦その後、藤枝梅安はリその針を使った必殺技で成功率も上々だ。もう一つの楽しみは、西村少年達の甲子園とも

だ。野口くんはソフトボールの腕前もすばらしいのだが、仲間のために美しい白球も提供してくれている。皆は汗をほとばしらせて、魂を躍動させ球を追っているのだ。しかし連日の酷使に耐えられず、少しづつ柔らくなり、真のソフトボールとなつてしまった白球は、まだまだ引退させてもらえそうにない。

よろず
さがえる

十四時間營業のパチン
 コ店、商店街には衣料
 品や食料品を扱ってい
 るお店が多く、いつま
 賑わっているのは、ま
 うやかな湯とご主人前
 田さんの人柄の良さを
 あろう。「よろずさか
 る」という屋号は、入
 浴客にも、縁起が良い
 湯として知られ、ここ
 から三代目の六十年
 年、四代目の八十周年

鉄砲の輪

今年も恒例の盆踊り大会が
萩茶屋の三角公園で行わ

民族自觉

月の舞台にも立っている。近くに住む高校生の角田昇さん(17)によると、人出は年々増えており、今年は特に若い女性連れも多く見られるという。屋台も数多く並び、祭としての雰囲気も盛り上がり、堀といった遠方からも多くの人出を集める要因となっているようだ。

協和共榮

最近の世界の民族は何
か自賞の精神を喪失し
た様に見える。ユーロ
の様な世界の最先端を
行く民族においても何
かと問題を抱えて悩
んでいる。この点がジエ

